

# 女性セッション「思いっきりバージョン UP ! part 3」

## ～誰もが参加したい 未来の「魅力ある建築士会」とは～

運営 女性委員会

日時・・・令和7年9月19日（金）10:00～11:45

会場・・・グランキューブ大阪 10階 1004会議室

参加者・・・会場57名／オンライン1名

「建築士会、もっとこうなったらいいのに！」「こんな活動があったら、参加したい」そう思ったことはありませんか？女性委員会では魅力あふれる建築士会を皆さんと一緒に考えるワークショップを開催し、7つの視点から、建築士会の魅力アップ策を徹底討論しました。視点毎の詳しい内容報告やアンケート結果を女性委員会ホームページに掲載していますのでぜひご覧ください。

**視点① ジェンダー（社会的性別）：**人材不足が叫ばれる中「男女が張り合うのではなく、共存を。性別ではなく、人間性・個性で。お互いを理解する。」と言ったまとめとなった。また「シニア世代とうまく連携する方法」と言ったアイデアが出るなど自由な若者もいたりして、これからどんどん変わっていく！いける！！そんな期待が膨らむセッションとなった。

（渡邊睦／岡山県建築士会）

**視点② 学生について：**建築の仕事を目指す時からこそ旬なコンテンツを提供する必要性や、実際に働く建築士との関わりを持つ事の重要性、学生が参加しやすいイベントの開催方法等どうすれば学生の中に建築士会の存在意義が生まれるかについて話し合った。

（畠中みか／和歌山県建築士会）

**視点③ シニア世代（55歳以上）：**「年と共に仕事にどう向き合うか」「シニア世代の建築士会からの脱会について」「新しい事へのトライの大変さ」「若い時との違いの戸惑い」「若い人との関わり方、士会活動を若い人へどうつなげるか」などについて意見交換をおこなった。まとめとして『仕事が好き』『この様な話ができる場があることが、女性委員会の良いところ』ということになった。

（長瀬八州余／岐阜県建築士会）

**視点④ 働き盛り世代の建築士：**働き世代は、業務の責任も重くなり、プロジェクトの中心ポジションの方も多く、またプライベートでは子育てなど家庭環境で自由になる時間が取れず、建築士会に積極的に参加したくともできない状況にあることが多い。そんな環境の中でも建築士会の活動に参加する事が叶うようになるにはどうなればいいのか話し合った。

（吉田幸恵／北海道建築士会）

**視点⑤ 若い世代：**自由な発信・創造の場（プラットフォーム、コンペ）の提供、実務に直結するスキル支援、子育て世代含む相互扶助体制の構築が重要で、これらを時間と費用の負担を抑えた魅力的なイベントやキャリア支援と組み合わせる必要があると話し合った。

（松田まり子／沖縄県建築士会）

**視点⑥ 情報発信（イベント等の集客）：**情報発信のツールは大別するとITとアナログでの発信となる。会員、会員でない建築士、建築を学ぶ学生、一般と、対象に合わせた情報発信が必要である。また、年代によって使用するツールが限定されることも課題となっている。

（萩原香／群馬建築士会）

**視点⑦ 建築士の認知度向上：**とにかく！建築士（会）・こんなに魅力ある女性委員会を知ってもらいたい！未来を背負う子どもたちは勿論のこと、景観や防災など一般を巻き込んだの街歩きやワークショップ。1個人に向けた法改正の実践的なQ&Aセミナーなどを開催。メディアやSNSを活用した情報発信の重要性を実感した。

（大泉みどり／山形県建築士会）

女性委員会ホームページ



視点⑥グループディスカッション



視点⑤グループディスカッション



視点②発表風景



視点⑦ディスカッションまとめ